

## 平成27年度事業実績報告（総括）

### I 事業報告

平成27年度の主な出来事を概観します。国内においては、先ず台風17号などの影響で9月9～11日の3日間にわたり、関東、東北で発生した豪雨により、茨城、栃木、宮城の3県で8人死亡するなどの大きな被害が出ました。中でも、茨城県常総市では鬼怒川の堤防が決壊、40平方kmにわたって浸水しました。次に、国民や企業に密接な関係がある税や社会保険において、国内に住む全ての人に12桁のマイナンバーを割り当てる共通番号（マイナンバー）制度関連法が施行されました。なお、この制度導入に当たっては、協会において、会員を対象とした研修会を開催しました。開催は熊本市、八代市の2つの会場で行い、好評を博しました。

県内においては、先ず、台風15号が熊本を縦に通過しました。人災はなかったものの台風に伴う支援要請を受けた災害廃棄物処理は10市町に及び会員の皆様と共に迅速な対応を致しました。次に、世界文化遺産として「万田抗」、「三角西港」、日本遺産として、「人吉球磨地域」が誕生しました。観光客の増加による地域活性化や宝の磨き上げにつながる施策が期待されています。3番目に、公共関与産業廃棄物管理型最終処分場である「エコアくまもと」が11月に落成しました。地元の理解と協力を得ながら進めた施設が南関町に完成したわけですが、同時に当該施設の屋根を利用し、「くまもと県民発電所」の太陽光発電事業がスタートしました。

協会の組織運営では、会員の若手で組織される青年部会の活動が注目されています。平成25年度から取り組んでいる環境出前講座が平成27年2月熊本県議会の一般質問で取り上げられ、高い評価を受けております。小学校に出向いて教室及び屋外で青年部の講師と共にゴミを中心にした環境問題を学習するもので、平成27年度は6校で実施しました。

また、平成11年度から本格的に支部毎に実施している熊本環境保全推進支援金事業については不法投棄防止啓発パトロールと不法投棄廃棄物の撤去作業を支部事業として平成27年度も関係の支部において計画的に実施しました。支部における不法投棄廃棄物の撤去作業については新聞にも掲載されるなど協会の社会貢献事業の一つとして定着し、地域の環境保全に一役買っているように思われます。これらの事業は継続して取り組んで行くことが重要であると思います。

本協会が実施するこのような多くの事業は会員の方々のご理解とご協力のうえに成り立っているものであり、県内の多くの関係者や団体に信頼され、期待されております。

以上のことを踏まえ平成27年度事業の執行状況について報告いたします。